

遠隔授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	遠隔授業 (オンデマ ンド配信)	ハイフレ ックス型授業	ブレンド 型授業	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
1	後期	必修	1	数学2 (永田クラス)	永田	○				全8回	課題(レポート、リアクションペーパー)20%と定期試験80%で評価する。	変更なし
1	後期	必修	1	数学2 (竹本クラス)	竹本	○				全8回	定期試験 (60%) とレポートまたは小テスト8回 (40%) により評価します。	変更なし
1	後期	必修	1	物理学2	竹本			○		全8回	定期試験 (60%) とレポート8回 (40%) により評価します。	変更なし
1	後期	必修	1	英語リスニング2 (スミスクラス)	スミス	○				全8回	課題 (40%)、試験2回 (60%)	課題 (50%)、医療用語 テスト2回 (50%)
1	後期	必修	1	英語リスニング2 (田邊クラス)	田邊	○				全8回	期末試験結果 (60%) と発表・積極的な発言 (40%) により評価する。	変更なし
1	後期	必修	1	英語リスニング2 (神前クラス)	* 神前	○				全8回	期末テスト60%、平常点40% (毎回の授業における提出課題20%、毎回の授業で実施する学術用語小テスト20%)	変更なし
1	後期	必修	1	英語リスニング2 (田尾クラス)	* 田尾	○				全8回	授業内試験(60%)、授業への積極的な参加(10%)、小テスト (10回) (30%)	変更なし
1	後期	必修	1	英語リーディング2 (楠瀬クラス)	* 楠瀬	○				全8回	定期試験80%と小テスト20%により評価する。	講義中の口頭発表20%、毎回の講義の最後に実施する Dictation Testおよび小レポート提出80%により評価する。
1	後期	必修	1	英語リーディング2 (井上クラス)	* 井上径子	○				全8回	定期試験結果 (60%) 授業貢献度 (小テスト、予習、発表状況など) (40%) なお、コロナ感染拡大状況によって、オンライン授業が部分的、または全面的に導入された場合、定期試験を中止し、課題で評価する可能性がある	変更なし
1	後期	必修	1	英語リーディング2 (大神クラス)	* 大神	○				全8回	期末試験 (試験期間に行うペーパーテストの結果) : 50% 授業活動 (授業外学習と授業活動への取り組み状況を評価) : 50%	変更なし
1	後期	必修	1	英語リーディング2 (藤本クラス)	* 藤本幸治	○				全8回	提出課題 50%、まとめの演習テスト 40%	変更なし
1	後期	選択必修	1	ドイツ語2	阪本	○				全8回	・授業への参加態度 (授業、アクティブ・ラーニングに臨む姿勢、宿題や小テストへの取り組み方) … 50% ・授業内試験 (筆記、音読) … 50%	変更なし
1	後期	選択必修	1	中国語2	* 陳	○				全8回	授業内期末試験結果 (30%)、小テスト (30%)、授業への参加度* (40%) により評価する。*グループワークにおいて、グループの一員としてアクティビティに参加しているか。また発話の順番がまわってきた際に、積極的に発話しているか。	変更なし
1	後期	選択必修	1	ハングル2	* 李	○				全8回	課題60%、期末試験40%	変更なし
1	後期	選択	1	社会分析の基礎	* 銭廣		○			全8回	毎講義後提出のコメントシートの記述10%、期末レポート90%	変更なし
1	後期	選択	1	人間と宗教	* 鶴		○			全8回	1) 「定期課題」 (授業期間中: 4回) : 40% 2) 「期末課題」 (授業終了後: 1回) : 60% ※初回授業で詳しく説明するので、必ず出席すること。欠席する (した) 場合は、メールで連絡すること (✉ shinichi_tsuru@nifty.com)。	変更なし

遠隔授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	遠隔授業 (オンデマ ンド配信)	ハイフレ ックス型授業	ブレンド 型授業	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
1	後期	選択	1	文化人類学	*中本		○			全8回	講義での姿勢およびリアクション・ペーパーの評価(50%)、定期試験の結果(50%)	各回オンデマンド講義において提示する課題(40%)、期末レポート(60%)
1	後期	選択	1	倫理と社会	阪本		○			全8回	・授業への参加態度(授業に臨む姿勢、課題小論文の取り組み方)…60% ・授業内試験(論述問題)…40%	毎回の授業課題(第1~8回)の締切内の提出 ・・・100%
1	後期	選択	1	コーチング論	当麻		○			全8回	授業内で提出するレポート(60%)、小テスト2回実施(40%)	提出レポートを評価(100%)
1	後期	選択	1	スポーツ・運動2	当麻		○			全8回	身体活動量の確保、技能の向上(50%)、コミュニケーションの度合い、マナー、礼節の実践(50%)	提出レポートを評価(100%)
1	後期	選択	1	情報科学	*林武文・*下川・*土井麻理子	○				全8回	各担当者が、それぞれの持ち分で100点満点の評価を行う。最終評価は、担当回数の荷重平均(100点満点)とする。 ・林(2回):毎回授業中に小テストを実施する。比率は、小テスト1回目:50%、小テスト2回目:50%。 ・下川(4回):毎回レポートを課す。比率は、各回とも25%。 ・土井(2回):毎回小テストを実施する。比率は、小テスト1回目:50%、小テスト2回目:50%。	変更なし
1	後期	選択	1	生命誌	医学部 [遠隔受信]	○				全8回	講義および見学実習の出席状況、毎回の講義および生命誌研究館での見学実習で課す提出物(レポート)の内容で評価する。	変更なし
1	後期	選択	1	福祉工学概論	関西大学 [遠隔受信]	○				全8回	講義期間中に提出する十字モデルやレポートなど(100%)で総合的に評価する。	変更なし
1	後期	必修	2	有機化学1	和田俊一・浦田・宇佐美・平野・山田・米山・平田佳之・林淳祐・栗山			○		全15回	定期試験(90%)と課題(10%)により評価する。	変更なし
1	後期	必修	2	基礎細胞生物学	坂口			○		全15回	定期試験成績(100%)により評価する。	変更なし
1	後期	必修	2	生化学1	藤井			○		全15回	定期試験により評価する(100%)	変更なし
1	後期	必修	2	薬用天然物化学	谷口雅彦			○		全15回	定期試験結果(85%)、復習課題(10%)およびレポート(5%)により評価する。ただし、評価を受けるには定期試験の得点が60%以上であることが必須です。	変更なし
1	後期	必修	1	物理化学1	土井光暢			○		全12回	試験結果(100%)により評価する。	変更なし
1	後期	必修	1	分析化学1	天満			○		全12回	定期試験(90%)と小テスト(10%)により評価する。	定期試験(60%)と毎回の課題(40%)により評価する。
1	後期	必修	2	機能形態学1	藤森・大野・國澤			○		全15回	定期試験結果(100%)により評価する。	変更なし

遠隔授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	遠隔授業 (オンデマ ンド配信)	ハイフレッ クス型授業	ブレンド 型授業	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
1	後期	必修	1	医療薬学導入学習	松村・中村敏明・駒野・福森・井尻・幸田・角山・加藤隆史・山口・柳田・田中早織・倉田・前原	○				-	ローテーションで参加したテーマ(班)毎に、担当した各教員が評価します。評価の仕方は班によって若干異なります。第1班では、その回の導入学習の最後に、小レポートを提出していただき、そのレポート内容を基にフィードバックを兼ねつつ当該学生と教員とでディスカッションを行い、実習内容の理解度を判定して評価・採点します(松村、福森、幸田)。第2班は小テスト問題を含むレポートや小レポートを提出してもらい、その場で採点・評価し、フィードバックします(福森、山口、柳田)。第3班はテスト問題を含む小レポートに記載してもらい、形成的に評価・採点して後日返却します(井尻、加藤)。第4、5班は実習参加態度3割・小レポート7割で評価・採点し、レポートは後日返却します(中村敏、角山、田中早、駒野、倉田、前原)。以上の各班の点数を合計して最終的な評価点とします。定期試験は行いませんので、欠席された場合は、別の機会に、欠席したテーマのみ受講して頂きますが、受講に欠落が生じたままでは、原則として、単位を認めることができません。	変更なし
1	通年	必修	1	早期体験学習	戸塚・中村敏明・井上真・芝野・幸田・角山・加藤隆史・浅野・藤原・羽田・田中早織		○			-	施設見学・見学前後のSGD・全体発表会における態度30%、講義に関連したレポート等70%	変更なし
1	後期	必修	1	基礎有機化学実習	宇佐美・平野・山田・林淳祐	○				-	全7回(オンデマンド1回を含む)の実習を出席した上で、平常点(30%)、レポート(30%)、筆記試験(40%)の割合で評価し、60%以上の者を合格とする。平常点は、担当教員が実験および講義時の態度、出席(減点方式)、遅刻(減点方式)、掃除担当時の行動を見て採点する。ただし、筆記試験およびレポートに関しては各配点率の6割をそれぞれの合格基準とし、それに満たない場合は再試験およびレポートの再提出を課す。	変更なし
2	後期	必修	1	英語スピーキング2(スミスクラス)	スミス	○				全8回	課題(20%)、スピーキングテスト2回(40%)、医療用語筆記テスト2回(40%)	課題(30%)、スピーキングテスト2回(30%)、医療用語テスト2回(40%)
2	後期	必修	1	英語スピーキング2(Guardクラス)	*Guard	○				全8回	1. lesson answers 50% 2. essay assignments 20% 3. Final examination 30%	変更なし
2	後期	必修	1	英語スピーキング2(Brothertonクラス)	*Brotherton	○				全8回	Evaluation will be in the form of class participation (33%), homework & assignments (33%) and class tests (33%). (=100%)	変更なし
2	後期	必修	1	英語スピーキング2(堀クラス)	*堀	○				全8回	小テスト(前週学習内容の確認小テスト)40%、毎週の授業のふりかえり(紙またはオンラインでの提出)10%、スピーキングテスト2回30%、前半・後半まとめの筆記テスト2回(20%)	変更なし
2	後期	必修	1	英語ライティング2(天ヶ瀬クラス)	天ヶ瀬	○				全8回	定期試験70%平常点30%(課題と小テスト)	小テスト30%課題提出20%エッセイ50%

遠隔授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	遠隔授業 (オンデマ ンド配信)	ハイフレ ックス型授業	ブレンド 型授業	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
2	後期	必修	1	英語ライティング2 (田邊クラス)	田邊	○				全8回	期末試験結果 (60%) と発表・積極的な発言 (40%) により評価する。	変更なし
2	後期	必修	1	英語ライティング2 (Guardクラス)	* Guard	○				全8回	1. Vocabulary assessments 10% 2. lesson answers 30% 3. Final examination 30% 4. Writing assignments 30%	変更なし
2	後期	必修	1	英語ライティング2 (堀クラス)	* 堀	○				全8回	小テスト (前週学習内容の確認小テスト) 50%、定期試験 50%	変更なし
2	後期	必修	1.5	心理社会	○川端				○	全12回	定期試験結果70%、小テスト30%で評価する	期末レポート70%、小テスト30%で評価する
2	後期	選択	1	社会分析の基礎 (教養)	* 銭廣		○			全8回	毎講義後提出のコメントシートの記述10%、期末レポート90%	変更なし
2	後期	選択	1	人間と宗教 (教養)	* 鶴		○			全8回	1) 「定期課題」 (授業期間中: 4回) : 40% 2) 「期末課題」 (授業終了後: 1回) : 60% ※初回授業で詳しく説明するので、必ず出席すること。欠席する (した) 場合は、メールで連絡すること (✉ shinichi_tsuru@nifty.com)。	変更なし
2	後期	選択	1	文化人類学 (教養)	* 中本		○			全8回	講義での姿勢およびリアクション・ペーパーの評価 (50%)、定期試験の結果 (50%)	各回オンデマンド講義において提示する課題 (40%)、期末レポート (60%)
2	後期	選択	1	倫理と社会 (教養)	阪本		○			全8回	・授業への参加態度 (授業に臨む姿勢、課題小論文の取り組み方) … 60% ・授業内試験 (論述問題) … 40%	毎回の授業課題 (第1~8回) の締切内の提出 ・・・100%
2	後期	選択	1	コーチング論 (教養)	当麻		○			全8回	授業内で提出するレポート (60%)、小テスト2回実施 (40%)	提出レポートを評価 (100%)
2	後期	選択	1	スポーツ・運動実習2 (教養)	当麻		○			全8回	身体活動量の確保、技能の向上 (50%)、コミュニケーションの度合い、マナー、礼節の実践 (50%)	提出レポートを評価 (100%)
2	後期	選択	1	数理論理学 (教養)	永田		○			全8回	リアクションペーパー50%とレポート課題50%で評価する。	授業内課題50%と期末レポート課題50%で評価する。
2	後期	選択	1	生命誌	医学部 [遠隔受信]	○				全8回	講義および見学実習の出席状況、毎回の講義および生命誌研究館での見学実習で課す提出物 (レポート) の内容で評価する。	変更なし
2	後期	選択	1	福祉工学概論	関西大学 [遠隔受信]	○				全8回	講義期間中に提出する十字モデルやレポートなど (100%) で総合的に評価する。	変更なし
2	後期	必修	1.5	有機化学3	浦田・宇佐美・平野・山田・和田俊一・米山・平田佳之・林淳祐・黒山				○	全12回	定期試験結果 (90%) および小テスト (10%) により評価します。	変更なし
2	後期	必修	1.5	有機スペクトル学演習	山田・浦田・宇佐美・平野・和田俊一・米山・平田佳之・林淳祐・黒山				○	全12回	定期試験の正答率が60%以上のものについて定期試験 (90%)、演習問題 (10%) の割合で評価する。	変更なし
2	後期	必修	1.5	物理化学3	友尾・尹				○	全12回	定期試験 (100%) の成績により評価する。	定期試験 (100%)、ただし課題提出は必須とする。
2	後期	必修	1.5	生化学3	福永				○	全12回	定期試験 (88%) と復習課題 (12%) で評価する。	変更なし

遠隔授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	遠隔授業 (オンデマ ンド配信)	ハイフレッ クス型授業	ブレンド 型授業	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
2	後期	必修	1.5	衛生薬学 1	佐久間・長谷井				○	全12回	定期試験80%、ならびに適宜実施するレポート20%により評価する。	変更なし
2	後期	必修	1.5	分子細胞生物学	福永				○	全12回	定期試験 (88%) と復習課題 (12%) で評価する。	変更なし
2	後期	選択	1	専門職連携医療論	中村敏明・角山					全8回	課題の提出状況・内容 50%、グループディスカッションの取り組み姿勢 30%、発表プロダクト20%により評価する。	変更なし
2	後期	必修	1.5	病態生化学	藤森				○	全12回	定期試験結果 (100%) により評価する。	変更なし
2	後期	必修	1.5	薬理学 2	大喜多				○	全12回	定期試験の成績により評価する (100%) 。	変更なし
2	後期	必修	1.5	生物薬剤学 1	永井				○	全12回	定期試験結果 (90%) および演習課題提出内容 (10%) により評価する。	変更なし
2	後期	必修	1.5	薬物治療学 2	加藤隆児・松村人志・山口				○	全12回	各授業後に行う小テスト (100点満点) の平均点で評価を行う (100%)。なお、小テストを実施するにあたりWebツールを用いる場合がある。	変更なし
2	後期	必修	0.5	漢方・生薬学実習	谷口雅彦・芝野・平田佳之	○				-	実習試験の得点が60%以上、および鑑定試験の完答が8問中5問以上の者に対して、実習試験 (50%)、鑑定試験 (30%) およびレポート (20%) で評価する。	変更なし
2	後期	必修	1	物理・放射化学実習	友尾・尹・平田雅彦・山沖	○				-	学習内容の理解度、実習に対する積極性、実習後に提出するレポートの内容および実習終了後に行う実習試験の成績などによって総合的に評価する。各評価の寄与率は以下の通りとする。出席：10%、レポート：40%、筆記試験：50%	現段階では変更なし
3	後期	必修	1	異文化言語演習 2 (城下クラス)	城下	○				全8回	発表内容=60% [訳出]、演習へのコミットメント=40% [短文論述]。訳出・短文論述のいずれもその都度コメントして必要に応じて修正を求め、基準を満たせる内容になるよう指導する。	変更なし
3	後期	必修	1	異文化言語演習 2 (天ヶ瀬クラス)	天ヶ瀬	○				全8回	小テスト7回の平均点 (30%) プレゼンテーション (50%) 課題提出 (20%)	変更なし
3	後期	必修	1	異文化言語演習 2 (楠瀬クラス)	*楠瀬	○				全8回	受講時の発表など講義への貢献 (20%) と毎回のレポート提出 (80%) により評価する。	変更なし
3	後期	必修	1	異文化言語演習 2 (柵矢クラス)	*柵矢	○				全8回	授業での発表 (70%)、授業への取り組み(予習や取り組みの積極性) (30%) を元に総合的に評価する。	変更なし
3	後期	必修	1	異文化言語演習 2 (伊藤クラス)	*伊藤	○				全8回	定期試験 (60%)、プリント等の提出物および授業態度 (40%) により評価する。	変更なし
3	後期	必修	1	異文化言語演習 2 (衛藤クラス)	*衛藤	○				全8回	小テスト30%、レポート30%、まとめの総合演習テスト40%	変更なし
3	後期	必修	1	異文化言語演習 2 (鶴クラス)	*鶴	○				全8回	講義回数の2/3以上の出席を条件とし、授業での発表 (50%) と課題提出状況 (50%) により評価を行う。	変更なし
3	後期	必修	1	異文化言語演習 2 (木村クラス)	*木村	○				全8回	発表内容…60% [提出課題の内容]、演習へのコミットメント=40% [訳出その他] 欠席は正当な理由のある、事前・事後の申し出のあったもののみ認める。	変更なし
3	後期	必修	1	医療統計学	細畑				○	全8回	100%定期試験により評価する。	変更なし
3	後期	必修	1.5	衛生薬学 4	奥平・長谷井・○中野				○	全12回	定期試験100%で評価する。	変更なし

遠隔授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	遠隔授業 (オンデマ ンド配信)	ハイフレ ックス型授業	ブレンド 型授業	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
3	後期	選択	1	応用放射化学	大桃		○			全8回	定期試験結果(100%)により評価する。	変更なし
3	後期	選択	1	精密有機合成化学	宇佐美		○			全8回	定期試験の成績:90%、レポート(課題)点10%で評価する。	変更なし
3	後期	必修	1.5	医薬品化学1	平野				○	全12回	定期試験90%、講義中の課題10%で評価する。	変更なし
3	後期	必修	1.5	薬理学4	大喜多				○	全12回	定期試験の成績により評価する(100%)	変更なし
3	後期	必修	1.5	製剤学	戸塚・門田				○	全12回	最低限の出席(全授業の2/3以上)は試験を受ける上で必修。定期試験により評価を行う(100%)。	定期試験により評価を行う(100%)
3	後期	必修	1.5	薬物動態解析学	宮崎				○	全12回	定期試験の結果より評価する(100%)。	変更なし
3	後期	必修	1.5	薬物治療学4	幸田・駒野・矢野・井尻				○	全12回	各講義ごとに小テストを行い評価する。評価点の寄与率は100%(12回の小テストの合計点)とする。小テストを実施するにあたりWebツールを用いる場合がある。	変更なし
3	後期	必修	1	医療と法	城下				○	全8回	定期試験による評価(70%)と講義中の小テスト(確認用紙として配布、30%)の評価を合算して最終的な評価とする。細かな内訳は講義中に示す。小テストには授業への質問・意見を含み、基本的に毎回の授業で、前回の質問・意見についてリプライする。	定期試験による評価(70%)と講義中の小テスト(オンラインで実施、30%)の評価を合算して最終的な評価とする。細かな内訳は講義中に示す。小テストには授業への質問・意見を含み、基本的に毎回の授業で、前回の質問・意見についてリプライする。
3	後期	選択	1	臨床化学	山口		○			全8回	講義終了後の確認テスト10回の成績を加味し総合評価します。	変更なし
3	後期	選択	1	臨床生理学	*藤岡・*和田晋一		○			全8回	授業時間内に実施する計測技術演習(70%)と小テスト(30%)により評価します。小テストは各授業内容についての基礎的問題(選択肢問題)で、約5分間で実施します。新型コロナウイルス感染症の状況により遠隔授業となった場合は、提出課題(合計8回)により評価します。	変更なし
3	後期	必修	1	衛生薬学実習	奥平・佐久間・長谷井・東・小池	○				-	実習レポートの内容(90%)と、討議(態度)(10%)で評価する。	変更なし
3	後期	必修	1	薬理学実習	大野・大喜多・清水・田和・河合・國澤	○				-	3分の2以上の出席を満たした上で、筆記試験、レポート、実習態度・意欲で評価する。ただし、①筆記試験(50%)、②レポートと実習態度・意欲(50%)の合格基準は各配点率の6割とする。	変更なし
3	後期	必修	1	製剤学実習	戸塚・永井・宮崎・門田・本橋・内山・竹林	○				-	実習試験(30%)レポート(70%)。欠席・遅刻は原則認めないこととし、下記の全ての回に出席することが成績評価を行う上での前提条件とする。レポートの提出期限は厳守すること。	変更なし
4	後期	選択	0.5	先端分子医科学2	藤森・駒野・土屋・小池		○			全5回	レポートの提出状況、内容により評価する(100%)。	課題の提出状況、内容により評価する(100%)。
4	後期	必修	1	連携医療学	矢野				○	全8回	定期試験の成績70%、授業への参加姿勢30%(予習テストの成績10%、リフレクションシートの記載内容20%)で評価する。リフレクションシートの評価基準は第1回目の授業で配布する。	変更なし

遠隔授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	遠隔授業 (オンデマ ンド配信)	ハイフレッ クス型授業	ブレンド 型授業	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
4	後期	選択	0.5	アドバンスト薬物治療学 1	福森・駒野・幸田・加藤隆児・山口		○			全5回	各講義の最後に小テスト(5回、各20%、計100%)を行う。全ての講義でのこの小テストの点数を加算して、評価点を出す。 なお、小テストを実施するにあたりWebツールを用いる場合がある。	変更なし
4	後期	選択	0.5	アドバンスト薬物治療学 2	井尻・岩永・天満・平野・山田		○			全5回	定期試験は行わない。 1コマで20点満点の小テストを行い、5コマで合計100点満点とする。評価点の寄与率は100%(5回の小テストの合計点)とする。 なお、状況によりオンライン・オンデマンド(遠隔)講義となった場合、各配信講義後に小テストを行う。	変更なし
4	後期	必修	1	個別化医療	井尻・細畑・加藤隆児		○			全8回	定期試験は行わない。 1コマで12.5%の寄与率の小テストを行い、8コマで合計点が100点となるように換算し評価する。評価点の寄与率は100%(8回の小テストの合計点)とする。 ※なお、状況によりオンライン・オンデマンド(遠隔)講義となった場合、各配信講義後に小テストを行う。	変更なし
4	後期	必修	1.5	コミュニティファーマシー	恩田		○			全12回	定期試験結果(80%)と各講義終了時に行う確認テスト(20%)により評価する。	変更なし
4	後期	選択	0.5	医療政策論	城下		○			全5回	定期試験による評価(80%)と講義中の小テスト(確認用紙として配布、20%)の評価を合算して最終的な評価とする。細かな内訳は講義中に示す。小テストには授業への質問・意見を含み、基本的に毎回の授業で、前回の質問・意見についてリプライする。	定期試験による評価(80%)と講義中の小テスト(オンラインで実施、20%)の評価を合算して最終的な評価とする。細かな内訳は講義中に示す。小テストには授業への質問・意見を含み、基本的に毎回の授業で、前回の質問・意見についてリプライする。
4	後期	選択	0.5	医療倫理論	阪本	○				全5回	・授業への参加態度(授業に臨む姿勢、課題小論文への取り組み方)…60% ・授業中ならびに最終回の授業で行う自己評価と相互評価(ループリック)…40%	変更なし
4	後期	必修	0.5	薬学基礎演習	井上晴嗣				○	-	演習試験の成績などを総合的に評価します。具体的な評価の方法は開講時に薬学基礎演習ガイダンスで説明します。変更がある場合も、ガイダンスで説明します。	変更なし。すでにガイダンスで説明済み。
4	後期	必修	1	臨床導入学習 2	井上晴嗣・中村隆・田中・大野・戸塚・多井・岩永・中村隆・藤森・天満・平野・福森	○				-	実習評価表に基づいた評価(50%)、実習態度(40%)、小テスト(10%)の割合で評価する。	変更なし
4	通年	必修	-	統合薬学演習 ※R3年度開講せず	天野・中村隆・土井・藤田・大野・戸塚・多井・岩永・中村隆・藤森・天満・平野・福森	○				-	報告書の内容70%(1課題あたり35%×2課題)、SGDへの取り組み(積極性・協調性・寄与度)30%	変更なし

遠隔授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	遠隔授業 (オンデマ ンド配信)	ハイフレッ クス型授業	ブレンド 型授業	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
4	通年	必修	16	特別演習・実習		○				-	配属した研究室における研究活動の中で様々な「技能」を身につけながら、得られた成果のまとめとして「研究発表」の実施と「卒業論文」の作成を行う。評価項目として、配属期間における研究活動に対する「態度」、この間に身につけた「知識・技能」、さらに「研究発表」および「卒業論文」を評価する。各評価項目について、それぞれ別に定めた5つの評価細目を5段階で評価する。「態度」、「技能」の評価項目では、評価が1点の細目がそれぞれ2つ以下であること、および、「研究発表」、「卒業論文」については、1点の評価の細目数が2名の教員の合計で4つ以下であること、を合格基準とする。なお、「研究発表」の評価に際しては、プレゼンテーション能力に関するルーブリック表を取り入れて実施する。	変更なし
5	通年	必修	10	病院実務実習						-	<p>I.概略評価 指導薬剤師と実習生が、定期的（2～4週間毎を目安）に、概略評価表を基に評価を行い、実習の振り返りを行うことで実習生がどの程度、何が成長したか評価する。</p> <p>II.実務実習記録（日誌・レポート）による評価 実習生は、毎日の日誌に自分がその日学習した内容、体験した事例、修得した能力等を簡潔に記録して指導薬剤師、教員等の指導者に提示する。指導者は、その日誌の報告で実習生の実習の進捗状況を確認するとともに、実習についてフィードバックを行う。実習生は、指導者からのアドバイスを受けて薬剤師として求められる臨床能力の成長を確認する。</p> <p>III.合否に関わる成績の決定 大学では、実務実習記録による評価50%、学生との懇談内容10%、指導薬剤師による評価30%、学生のルーブリック10%という割合で、総合評価を行う。</p>	変更なし
5	通年	必修	10	薬局実務実習						-	<p>I.概略評価 指導薬剤師と実習生が、定期的（2～4週間毎を目安）に、概略評価表を基に評価を行い、実習の振り返りを行うことで実習生がどの程度、何が成長したか評価する。</p> <p>II.実務実習（日誌・レポート）による評価 実習生は、自分がその日学習した内容、体験した事例、修得した能力等を実務実習記録（日誌・レポート）に毎日簡潔に記録し、指導薬剤師及び教員等の指導者に提示する。指導者は、提出された当該記録の内容などに基つき、実習の進捗状況を確認するとともに、適宜フィードバックを行う。実習生は、指導者からのアドバイスを受けて薬剤師として求められる臨床能力を自覚し、自己成長の度合いを省察する。</p> <p>III.合否に関わる成績の決定 大学では、実務実習記録による評価50%、学生との懇談内容10%、指導薬剤師による評価30%、学生のルーブリック10%という割合で、総合評価を行う。</p>	変更なし

遠隔授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	遠隔授業 (オンデマ ンド配信)	ハイフレッ クス型授業	ブレンド 型授業	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
5	通年	必修	16	特別演習・実習						-	配属した研究室における研究活動の中で様々な「技能」を身につけながら、得られた成果のまとめとして「研究発表」の実施と「卒業論文」の作成を行う。評価項目として、配属期間における研究活動に対する「態度」、この間に身につけた「知識・技能」、さらに「研究発表」および「卒業論文」を評価する。各評価項目について、それぞれ別に定めた5つの評価細目を5段階で評価する。「態度」、「技能」の評価項目では、評価が1点の細目がそれぞれ2つ以下であること、および、「研究発表」、「卒業論文」については、1点の評価の細目数が2名の教員の合計で4つ以下であることを合格基準とする。なお、「研究発表」の評価に際しては、プレゼンテーション能力に関するルーブリック表を取り入れて実施する。	変更なし
6	通年	必修	3	薬学総合演習	大喜多 (薬剤師国家試験対策委員長)					-	定期試験の結果に基づいて評価を行う (100%)。	変更なし